

留 学 報 告 書

記入日:2013年09月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部
留学先国	ドイツ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	フリードリヒ・シラー・イエナ大学 Friedrich-Schiller-Universität Jena
留学期間	2012年04月～2013年2月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Deutsch als Fremdsprache
帰国年月日	2013年2月18日
明治大学卒業予定年	2014年3月



留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:10月中旬～2月初旬 2 学期:4月中旬～7月末
学生数	19,000 人
創立年	1558 年

留学費用項目	現地通貨(ユーロ)	円	備考
授業料	€320	32,000 円	
宿舎費	€2,068	206,800 円	月々178(家賃、光熱費)+10(インターネット代) ×11 か月
食費	€2,200	220,000 円	
図書費	€150	15,000 円	
学用品費	€10	1,000 円	
教養娯楽費		円	
被服費	€300	30,000 円	
医療費		円	
保険費	€860	86,000 円	
渡航旅費	€4,000	400,000 円	日本・ドイツ往航空券、その他旅行
雑費	€200	20,000 円	
その他		円	
合計	€6,328	632,800 円	当時のレート(1 ユーロ約100円)

渡航関連

渡航経路:オランダ(アムステルダム)

渡航費用

チケットの種類 オープンチケット

往路 _____

復路 _____

合計 14万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

大学にあるリエゾンデスクでいろいろと相談しました

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2)

3)住居を探した方法:

留学先の大学が斡旋してくれ、その中から第3希望まで印をつけることができます

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ルームメイトととてもよい関係を築くことができ、暮らしの中で文化や習慣を学ぶことができたし、ネイティブと日常会話をするとても良い機会でした。私が住んだ寮はキッチン・バス・トイレはルームメイトと共同ですがそれぞれ鍵付きの個室があるのでプライバシーは守られています。しかしルームメイトが過剰に神経質であったり嫌味を言われたりトラブルが起きる場合もあるので、一人部屋が良い場合はあらかじめ希望の中に入れておくほうが良いと思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。 特に問題はありませんでした。大学の国際事務室や担当のチューターが相談窓口になっていました。
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 旅行雑誌やドイツ滞在経験者のホームページなどから。実際に現地で犯罪に巻き込まれたことはありません。
4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。) 寮のインターネット接続が不安定で、たまに繋がらない時がありました。現地に到着してから数日は学校でもインターネットが使えない(使うためのアカウントの申請に数日かかる)ので、街のカフェのWIFI 接続を使用している人が多かったです。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。) 現地に銀行口座を開設し、海外でも使えるキャッシュカードでお金を引き出し、現地の銀行口座に預け入れるというのを定期的に行っていました。
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

進路について

1) 進路 <input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) 専門商社、食品メーカー、タイヤ・ゴムメーカーから内定を頂きました。その中で、国内だけでなく海外にも多くの生産・販売拠点を持ち、世界を相手に仕事ができるという理由からタイヤ・ゴムメーカーへの入社を決めました。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) 就活のことを考えて留学を迷っている方もいると思いますし、私自身も不安でしたが…大丈夫です、帰国後でも遅すぎるという事はありません。自分が何をしたいのか、どういう働き方をしたいのかなど、譲れない部分を軸として持ちながら自分のペースで確実に進めていくことが大切だと思います。留学中に感じたことや学んだこと、挫折した経験などは自分のことを見つめ直す良いきっかけになるので、そこで発見した自分の強みを企業にアピールしましょう。 また、海外にいても興味のある会社へのエントリーや履歴書など送ることはできるので、受けたい企業があれば留学先からでも積極的に選考に参加することができます。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
70単位(ヨーロッパの単位システム)	<input checked="" type="checkbox"/> 12単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsche Gegenwartssprache	ドイツ語・口語(初級)
科目設置学部・研究科	Deutsch als Fremdsprache
履修期間	Sommersemester
単位数	10
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Britta Winzer-Kiontke
授業内容	様々なテーマについてディスカッション、グループワーク
試験・課題など	毎回エッセイの提出、最終筆記試験
感想を自由記入	先生がとても優しく、学生のアシスタントを交えながら毎回楽しく授業を受けた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsche Gegenwartssprache	ドイツ語・口語(中級)
科目設置学部・研究科	Deutsch als Fremdsprache
履修期間	Wintersemester
単位数	10
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Dr Wolf-Dirk Skiba, Jessica Neumann
授業内容	様々なテーマについてディスカッション、グループワーク
試験・課題など	毎回エッセイの提出、最終筆記試験
感想を自由記入	ドイツ語の先生を目指すネイティブの学生が交代で授業を受け持つ。 自由な会話や現代的なテーマなどを扱い、楽しく発言できる授業。 毎回のエッセイの提出、添削で学ぶことも多かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Grammatik der deutschen Sprache	ドイツ語文法
科目設置学部・研究科	Deutsch als Fremdsprache
履修期間	Sommersemester
単位数	10
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Christian Hascher
授業内容	文法問題の演習
試験・課題など	毎回ワークシート等の宿題、最終筆記試験
感想を自由記入	わかりやすく丁寧な授業

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Grammatik der deutschen Sprache		ドイツ語文法	
科目設置学部・研究科	Deutsch als Fremdsprache		
履修期間	Wintersemester		
単位数	10		
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	Dagmar Boettcher		
授業内容	文法問題の演習		
試験・課題など	毎回ワークシートまたはエッセイの宿題、数回抜き打ちテスト、最終筆記試験		
感想を自由記入	厳しいがユーモアのある先生。積極的な発言が求められる。		

履修した授業科目名(大学言語):		履修留学先した授業科目名(日本語):	
Interkulturelle Begegnung		異文化理解	
科目設置学部・研究科	Deutsch als Fremdsprache		
履修期間	Sommersemester		
単位数	10		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	Jessica Neumann		
授業内容	ドイツや周辺諸国の文化について学ぶ		
試験・課題など	ドイツ文化(または他文化との比較)について興味があることをプレゼンテーションする		
感想を自由記入	自由な雰囲気互いに意見を交換し合い、ドイツやその周辺国、私たち自身が持つ文化について触れることができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Interkulturelle Begegnung		異文化理解	
科目設置学部・研究科	Deutsch als Fremdsprache		
履修期間	Wintersemester		
単位数	10		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	Anna Korneva		
授業内容	ドイツや周辺国の文化について学ぶ		
試験・課題など	ドイツ文化について興味があることをプレゼンテーションする		
感想を自由記入	途中課外活動として旧東ドイツ博物館へみんなで出かけたことがとても面白かった。興味深い展示品を沢山見ることができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Korrektive Phonetik		ドイツ語発音	
科目設置学部・研究科	Deutsch als Fremdsprache		
履修期間	Sommersemester		
単位数	5		
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	M.A.Christiane Brick		
授業内容	ドイツ語の発音について学ぶ、練習		
試験・課題など	クラスメイトの前で例文を読み上げる際は、先生がチェックしている 最終試験はその場で一人ひとりに課題文が与えられ、読み上げる		
感想を自由記入	淡々とした授業だったので退屈ではあったが、発音は非常に重要なのでとてもためになることも多かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Korrektive Phonetik		ドイツ語発音	
科目設置学部・研究科	Deutsch als Fremdsprache		
履修期間	Wintersemester		
単位数	5		
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に45分が1回		
担当教授	M.A.Eva-Maria Ortmann		
授業内容	ドイツ語の発音について学ぶ、練習		
試験・課題など	一つづつ発音を全員で確認しながら進む。毎回確認テストのような感じで先生がチェックを付けている。		
感想を自由記入	生徒をアジア系と欧米系の大きく二つに分けて授業をするのが特徴。アジア系ならではの発音の癖などを中心に直しながら進むのでとてもわかりやすいしやりやすい。明るい先生で、授業自体がとても面白かった。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
 (形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	留学準備、航空券手配、保険契約など
4月～7月	夏学期開始、試験勉強
8月～9月	夏休み
10月～12月	10月中旬～冬学期開始
2013年 1月～3月	試験勉強、帰国、単位認定願提出、就職活動開始
4月～7月	就職活動本格化